



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

あこウ

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部(直通)

電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547

住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)

URL: <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>Eメール: kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者:地域医療支援部長 細川 貴規



年度初めのあいさつ

病院長 脇田 富雄



日頃より当院ならびに関連施設の運営に、ご支援とご協力を賜り感謝申し上げますとともに、医師会の先生方ならびに地域の保健・医療・介護・福祉に携わっておられる皆様方に厚く御礼申し上げます。

令和5年ゴールデンウィーク明けの5月8日から新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ変更され、変更後の医療提供体制に沿った対応を行っております。また、医療機関・介護施設の感染対策は引き続き継続が必要と考えられますので、上天草地域の市立病院としての役割を果たすべく、外来・入院診療の維持・充実をはかり、市民の皆様、連携施設の皆様のために、保健・医療・介護その他を継続した提供を行っていく必要があると思っております。どうぞ、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本年度は、第8次医療計画の開始の年度になります。基本目標である「安全安心な暮らしに向けた、一人一人の健康づくりと地域における保健医療の提供」を継続して行う必要があると思っております。5疾病(がん、脳卒中、心筋梗塞などの心血管疾患、糖尿病、精神疾患)、6事業(救急医療、災害医療、新興感染症、へき地医療、周産期・小児医療、在宅医療)に対して、「地域医療拠点病院」としての役割を果たすために、地域の連携体制をさらに発展させていくために取り組んでいく必要があると思っております。また、今年度4月から医師にも、時間外・休日労働時間の上限規制が適用されます。このため、大学病院等に当直等の勤務を頼ってい

る地方の病院にとっては、大学病院勤務医の時間外労働時間がとても重要な意味を持つことから、負担がかかってくる可能性もありますが、その中でやりくりしていく必要があります。地域連携の充実のため、くまもとメディカルネットワークの利用促進・拡充を行い、在宅医療サポートセンターとして在宅医療等の充実を図っていく必要があります。しかし、そのためには、医師を含めた医療従事者(看護師、看護助手、薬剤師その他)のマンパワーが必要です。医療だけでなく、介護人材の確保は、超少子高齢化が日本全国の20年先を進んでいる上天草地域では、介護が必要な高齢者人口が増加し、生産年齢人口が年々減少する中では、なかなか困難な状況にあります。住民の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるためにも、医療・介護連携を進めていけるよう、情報通信技術の活用は不可欠と考えます。今後は、健康寿命を延ばし、介護が必要な高齢者を一人でも減らす取り組みを行っていくことが大切です。また、昨年度一年間かけて、公立病院経営強化プランを当院も策定致しました。当院が、今後も持続可能な医療を提供していけるように、少しでも、住民のみなさんのニーズに応えられるよう取り組んでいきたいと思っております。

今後も、保健・医療・介護・福祉に関わる多くの施設・職種の方々と連携しながら、住民の皆さん、患者さんやその家族に寄り添い支えあえる医療機関として運営を行っていきたくと考えております。今後もこれまで同様の皆様方のご協力ご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

一般撮影にFPDを導入しました

放射線科 村松 寛子



放射線被ばくについて注目されるようになってきた今、安心して検査を受けていただけるよう、2023年8月よりFPD（フラットパネルディテクタ）を導入しましたので、紹介させていただきます。

FPDとは？

FPDとはフラットパネルディテクタ（Flat Panel Detector）の略で、体を透過したX線を、このFPDで受け取り、デジタル信号に変換することによってレントゲン写真を得る装置です。

FPDの特徴

・被ばくの低減が可能

FPDは従来のレントゲン撮影装置と比べX線の感度が高いため、より少ないX線量での検査が可能です。

・高精細な画像でより正確な診断

照射線量を減らしてもFPDの性能と画像処理技術により、高画質でノイズの少ない鮮明な画像を得ることができます。これにより、さらに正確な診断に必要な画像を提供できるようになりました。

・撮影時間短縮による身体的負担の軽減

従来のレントゲン撮影装置では、撮影方向を変える度にカセットと呼ばれる板を入れ替えなければならなかったのですが、FPDでは入れ替える必要がなくなりました。また、撮影してから画像が見られるまでの時間も短くなったため、1人あたりにかかる撮影時間も短縮され、患者さまの身体的負担の軽減や待ち時間の短縮につながりました。

・手術室や病棟ポータブル撮影でもその場で画像確認ができる

手術室や病棟での撮影の際、従来の装置では放射線科まで戻って画像を出していましたが、FPDで撮影すると、その場で画像確認ができるので、すぐにその後の処置にうつることが出来るようになりました。

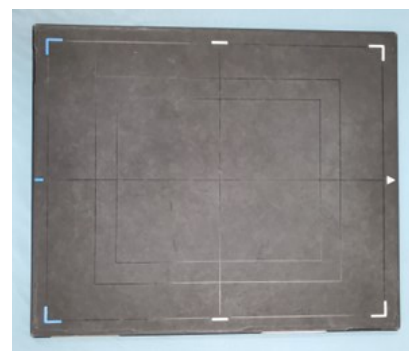


従来の画像(画像①)



FPDで撮影した画像(画像②)

従来(画像①)骨の重なりなどで見えにくかった部分もFPDで撮影(画像②)すると見えやすくなっています。



当院のFPD

今回のFPDの導入は1枚なので、全てのレントゲン撮影に対応できるわけではありませんが、フル活用して撮影しています。これからも私たち放射線科スタッフは、皆様に安心して検査を受けて頂けるよう被ばく低減や、診断に役立つ正確な画像の提供に努めたいと思います。できれば、あと数枚FPDの導入がかなえばと願っております。

自治医科大学の仕組みについて

総務課 井賀 寿



4月になり、異動の時期となりました。当院においても外来担当医が変更となり、患者さんから「もう〇〇先生は異動したの?」、「まだ1年しかいないのに?」といったご指摘をいただくことも多い時期です。ようやく信頼関係もできたところに、異動となってしまうことで不安を感じられることもあるかと思います。

どの自治体でも、医師不足である地域を抱えています。へき地も含めた地域に対して、どのような医療体制を整えていくかについて、自治医科大学の存在抜きには語れません。当院においても熊本県より自治医科大学卒医師の派遣を受けています。

自治医科大学は、へき地など専ら十分な医療が届かない地域で活躍する医師を養成するため、地域医療に責任を持つ全国の都道府県が共同して、昭和47年に栃木県下野市に設立した医科大学です。

自治医科大学では、入学者全員に対して入学金や授業料などを修学資金として貸与し、卒業後9年間は、出身都道府県知事が指定する公的医療機関やへき地診療所等に勤務することで修学資金の返還が免除になります。

自治医科大学卒医師は、出身都道府県職員の身分と派遣先の市町村等及び公的医療機関等の職員の身分を併せ持ち、熊本県においては県内の公的医療機関等にくまなく派遣されていくため、1年から2年ほどで異動してしまうこととなります。地域住民の皆さんにはご不便をおかけすることもあります。自治医科大学卒医師が派遣されているからこそ、へき地における医療提供が維持できていることもご理解いただければと思います。



研修会・勉強会の行事予定表

4月10日(水)	糖尿病教室 糖尿病のシックデイについて 病気になった時の対策	14:00～ 当院6階講堂
4月19日(金)	がんサロン 今月は、第4金曜日から第3金曜日に変更となります 事前にお問い合わせください	13:30～ 当院6階講堂
4月26日(金)	心臓リハビリテーション教室 心臓リハビリテーションについて	14:30～ 当院6階講堂

編集後記

〇日に日に、日照時間も長くなり、朝の気温も柔らかくなる新年度となりました。巻頭は、脇田院長の「年度初めのあいさつ」を掲載させて頂きました。医療の2024年問題、くまもとメディカルネットワーク(KMN)、上天草地域が抱える医療課題につき記載されています。放射線科からは、被ばく量が少なく、即時確認もでき、画像処理にも適しているFPDについて紹介させて頂きました。可能なら、予備も含めてあと数枚あれば良いですね。総務課からは、4月の人事異動について紹介させて頂きました。外来をしていると、この時期は、他の診察室から異動を惜しむ通院患者さんの声が聞こえてきますが、真摯に向き合って診療されている証だと聞き換えています。4月からの診療案内(外来表)も、異動に伴い変更となっています。本年度も、よろしくお願い致します。(細川)

4月 診療案内

※は、熊大応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
内科	和田 正文 小林 博 浦川 ゆめ子	和田 正文 林田 夏南子 中村 太造	岸川 秀樹 小林 博 浦川 ゆめ子 中村 太造	和田 正文 細川 貴規 小林 博 ※高柳 宏史	細川 貴規 浦川 ゆめ子 林田 夏南子	
代謝内科	※阪口 雅司	-	-	-	※小野 薫 (第3・5) ※大津 可絵 (第1・2・4)	
腎臓内科	-	-	細川 貴規	-	-	
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	-	※山本 正啓	脇田 富雄	
外科	-	-	-	-	-	
小児科	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	
婦人科(午前/午後)	坂口 優子/ オンライン診療	休診/ オンライン診療	坂口 優子/ 休診	休診/ オンライン診療	休診/ オンライン診療	
※外来診療時間は9時から13時30分となります。(受付時間は8時30分～13時まで) ※オンライン診療は、再診の方のみ予約診療となります。						
整形外科	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一	藤松 晃一	※応援	
※毎週火曜日・金曜日の診療開始は10時50分からとなります。						
耳鼻咽喉科	-	※熊大	-	※熊大	※熊大	4/9(火)
眼科	粟井 麻衣子	竹下 哲二 古島 京佳	古島 京佳	竹下 哲二	古島 京佳	
皮膚科	-	-	-	※宮下 梓	-	4/4(木)
泌尿器科	-	西 一彦	-	-	西 一彦	4/26(金)
※毎週金曜日の診療は完全予約制となります。						
超音波・ 内視鏡センター	石山 哲	石山 哲	※大野 健翔	林田 夏南子	※蔵野 宗太郎	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
※午後は、13時～16時30分までの受付です。						
教良木診療所 (午後)	小林 博	-	応援	応援	林田 夏南子	
御所浦診療所 (午前)	竹下 哲二	-	-	-	-	
栖本病院 (午前)	-	-	林田 夏南子	-	-	

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。